



地区懇談会について

5日(水)、6日(木)の両日、地区懇談会が開催されました。地区懇談会は、PTAの連携を深めるだけでなく、学校や家庭での生徒の様子や地域の課題等について、学校と保護者が情報を共有できる有効な機会となっています。今年は、有田市以北、有田川町、湯浅町以南の3つの地区に分かれて開催されました。各地区とも、学校からの説明の後、学年別に分かれて懇談会が行われました。学年別の懇談では、3年生は進路決定の問題、2年生は進路選択や学習の問題、1年生ではコース選択の問題等、それぞれの学年で話し合われた内容は異なりますが、個々の相談を含め活発な意見交換を行うことができ、PTAと学校との連携を深める有意義な懇談会となりました。

「稲むらの火まつり」のボランティア活動について

15日(土) 広川町で「稲むらの火祭り」が行われ、本校生徒10名がボランティアとして、参加しました。「稲むらの火祭り」は、1854年の安政南海地震の際、沿岸に津波が押し寄せるとを察知した濱口梧陵が、稲むらに火をつけて危険を知らせ、村人たちの命を救った功績を讃えるため行われています。午後6時ごろから、広川町役場前から広村堤防など町なかを通り、松明に火をともし広八幡神社まで歩きました。生徒が行ったボランティアはゴール地点の広八幡神社で、参加者に振る舞われる「稲むらうどん」を配布する際に、大人に混ざった子供たちも安全に食べられるよう安全確保を行いました。今年は東日本大震災があり、また、県内でも台風12号で大きな被害が出ています。参加者は、日頃から災害に対する備えと、非常時の対応の大切さを考える機会になりました。



生徒進路講演会及び保護者進路講演会について

17日(月)はベネッセコーポレーションの 秋山政英氏を講師にお迎えし、進路講演会が開催されました。今回の進路講演会は、1、2年生の生徒及び保護者を対象に実施されました。それぞれの学年に応じた内容で、アドバイス等も含めご講演いただきました。生徒は7限に1年生、6限に2年生と学年別を実施し、また19時から1、2年生の保護者を対象とした講演も行われました。1、2年生の生徒については、進路選択や科目選択に向けた内容で、各学年とも、進路決定に向けて迷いや悩みを持つ者も多く、今後の進路選択にとって大いに参考になったことと思います。特に講師の先生の「迷ったら、まず行動!」という言葉が、生徒の心に残った様子でした。



また保護者対象の講演会には、52名の参加がありました。主な内容は、今企業が求めている人材についての現状や、今後子供たちが進路を決める際の取り組み方・心構え等を、わかりやすくお話していただきました。

今回の講演内容は、生徒及び保護者とも、進路選択を考える上で参考になるだけでなく、社会が求める人材等、日本の若者がおかれている現状を学ぶ機会となりました。

人権学習について

24日(月)、31日(月)は、学年別に人権学習を行いました。1年生24日午後から、生きる意味や生命の尊さを考えることを目標に、映画「ウイングバス」を鑑賞しました。バイク事故で下半身不随になった高校生が、車椅子バスケットボールの世界に挑戦し、自身の居場所を見出し、新しい人生を歩んでいく内容でした。映画を通じ「生きること」の意味を考える機会となりました。2年生は31日の3、4限に、さまざまな社会問題から人権を学ぶことを目標に、NPO白浜レスキューネットワーク理事長で、いのちの電話を通して自殺企図者と長年にわたり関わってこられた藤藪庸一氏を講師に迎え、「志を持って、今を生きよう」をテーマにご講演いただきました。3年生は24日の6、7限に、本校の元校長で、現在和歌山外国語専門学校長の藪添泰弘氏を講師にお迎えし、社会が求めている人材や、多様な文化や生き方を学ぶことを目標に、「卒業する君たちへ」を題材にご講演いただきました。社会問題を通じ、人権について考える機会となりました。生徒たちは、熱心に映画の画面に見入ったり、講師の先生の言葉に耳を傾けたりと、人権を考える有意義な取り組みとなりました。



11月の予定

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1日 | なわとび大会 |
| 2日 | 学校評議委員会 |
| 4,5, 18,19日 | センター試験プレテスト |
| 16日 | 図書館教養講座 |
| 17日 | 校内一斉読書会 |
| 24日 | 後期中間考査時間割発表 |
| 25日 | 先輩が先生講演会(13:20) |

